

# 日本における first trimester での subclinical hypothyroidism と 分娩転帰、新生児予後との関係

## (1) 研究の目的

近年、妊娠経過中に subclinical hypothyroidism (潜在性甲状腺機能低下症) があると、流産や前期破水といった母体の有害事象や新生児死亡が増大するといった報告がなされています。しかし、日本においてはこれまで大規模な研究はなされていません。

当センターは 2016 年から妊娠初期での TSH のスクリーニングを全員に施行しています。このデータを収集・分析することで甲状腺機能低下症を背景にもつ妊婦さんに適切な支援を行うことを目的としております。

対象：2016 年 4 月から 2019 年 3 月に産科初診外来を受診した方。

## (2) 研究の方法

診療の記録を後方視的に検討・分析します。

## (3) 予測される利益・不利益

診療の記録を後方視的に検討・分析するため、診療の時点での利益・不利益はありません。参加を希望されない方は下記までご連絡ください。参加されないことによる不利益はありません。

## (4) 個人情報保護

個人情報は匿名化され、個人が特定される情報は使用されません。  
また研究の発表時にも個人情報は使用されません。

## (5) 研究成果の公表

研究成果は学会発表ならびに学術論文として公表する予定です。

## (6) 費用

謝礼などはお渡ししておりません。

## (7) 問い合わせ等の連絡先

日本赤十字社医療センター 産婦人科 有吉 悠

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 電話：03-3400-1311